| | | |
|---|---|---|
| 名　　称 | | 令和８年度第２回西予市地域公共交通活性化協議会 |
| 事　務　局 | | 西予市政策企画部　まちづくり推進課　地域振興係 |
| | | 電　話　0894-62-6403 |
| | | ＦＡＸ　0894-62-6501 |
| 開 催 日 時 | | 令和８年 10 月 26 日(月)　14：00～15：08 |
| 開 催 場 所 | | 西予市役所５階　大会議室 |
| 出席者 | 委　員 | 宇都宮会長、松村副会長、長野委員、谷川委員、大内委員、松本委員、冨永委員、二宮委員、芝委員、山本委員、山田委員、相原委員、宮本委員、西岡委員、毛利委員、窪委員 |
| | 事務局 | 原井川政策企画部長、まちづくり推進課：佐藤課長、中村課長補佐、玉岡係長、上甲主査 |

議事内容（要旨）

| | |
|---|---|
| 会長 | １開会あいさつ |
| | ２協議事項 |
| 事務局 | 議題①仁土地区・田之浜地区デマンド乗合タクシーの本格運用について |
| 委員 | 利用状況として特定の人に偏っている。新規の利用者も取り込めるような取り組みが重要ではないか。 |
| 委員 | 田之浜地区デマンドタクシーについて、三瓶町の蔵貫地区や皆江地区の人も利用できるのか。 |
| 事務局 | 田之浜地区からの目的地としては利用できるが、蔵貫や皆江地区から朝立方面への乗車はできない。宇和島自動車のバス路線をご利用いただく想定としている。 |
| | （その他意見なし、全員挙手により原案承認） |
| 事務局 | 議題②西予市地域公共交通計画の策定について |
| | 【各委員から意見聴取等】 |
| 各委員 | ・路線バスについては利用者減少の傾向はみられないが、 |

| | |
|---|---|
| | 人件費高騰等により運行コストが上昇している現状があるため、収入増加に向けた取り組みやダイヤ改定を検討していく。<br><br>・人口減少を食い止めるひとつのツールとして観光産業や公共交通があり、これらがまちづくりにつながる。広域の輸送手段として、協力していきたい。<br><br>・人件費も上がっており、収支率向上は難しいのではないか。地域の声をより反映した使いやすいバス路線や代替交通の構築を進めてほしい。<br><br>・KPI について、「利用促進に向けた情報発信回数」という定量的なものだけではなく、「認知度」などの効果がわかるKPI の設定が必要ではないか。<br><br>・高校生の部活動終了後に合わせたバス便の運行について、保護者の送迎負担軽減の観点から要望があるものの、運転手の労働時間制約等により増便や時間変更は難しい現状がある。<br><br>・高校生保護者の送迎負担の軽減や、中学校の統合・部活動の地域展開を見据えた子どもたちの移動手段の確保が重要ではないか。<br><br>・公共交通の不便さから、免許を返納できない実態がある。デマンド乗合タクシーをより身近に利用してもらえるよう、住民への周知・PR していくことが必要である。<br><br>・警察署では、運転免許自主返納者に対してデマンドタクシーの案内資料を配布するなどの取り組みを行っており、今後も市の施策に協力していきたい。<br><br>・限られた財源の中で公共インフラや道路整備を維持・整備していく重要性とともに、ドライバー不足や免許返納者の増加に対応するため、関係機関が連携して交通手段を維持していく必要がある。<br><br>・高齢化率が 45%に達する現状を踏まえ、免許返納時の積 |

| | |
|---|---|
| 副会長 | 極的な PR やデマンドタクシーと路線バスの組み合わせ利用、スマート決済導入の検討に加え、計画の基本理念に「利用者自身も利用を通じて公共交通を支える一員である」という視点を取り込んではどうか。<br><br>・次期西予市の公共交通計画の特徴として、中高生の通学に対する配慮の必要性が記載されているため、教育委員会との連携や、資源の有効活用に繋げていけたらよい。<br><br>（その他意見なし、全員挙手により原案承認）<br><br>３その他<br><br>４閉会あいさつ<br><br>【閉会】 |
| 備　　考 | |